

都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER



今号の紙面

- 第1面 中小企業人材スキルアップ支援事業
- 第2面 現場訓練支援事業/求人お待ちしています!
- 第3面 経営者インタビュー⑬(株式会社日本電力サービス 代表取締役 横倉 利隆氏)
- 第4面 第8回東京都若手人材育成溶接コンクール/オーダーメイド講習/キャリアアップ講習



産業労働局長賞 受賞 第8回東京都若手人材育成 溶接コンクール



若年者就業支援科(溶接コース) (令和4年度から「U-30溶接科」)



▲若年者就業支援科(溶接コース)の生徒(左)2位優秀賞 東京都産業労働局長賞 産報出版賞、(右)3位優良賞 産報出版賞 を受賞しました。

オーダーメイド講習

対象:都内の中小企業(団体等含む)
企業(団体等)単位5名以上

場所:センター・各校の施設・設備を使用

授業料等:受講生1名あたりの金額(900円~6,500円)を受講人数分(※講習の内容や時限数で異なります。)他に教科書代

講習時間:14時限~24時限(1時限は45分)を2日~8日程度で実施

要望に応じて

センター校の施設



キャリアアップ講習

対象:現在働いている方(派遣・契約社員・パート等含む)で、都内に在住または在勤の方

場所:センター・各校の施設・設備

企業単位でのお申込み(企業受付)ができる講習もあります。

授業料等:1講習あたり900円~6,500円 他に教科書代

講習時間:標準24時限を2日~8日で実施(1限は45分)主に平日の夜間・土日祝日の昼間

センター校の施設



令和5年度
受付開始

中小企業人材スキルアップ支援事業

外部教育機関が実施するセミナーも助成の対象です!

東京都は、従業員教育・人材育成に取り組む都内中小企業・団体のみなさまを支援するため、従業員のスキルアップのための職業訓練を実施する中小企業・団体に対し、助成金を支給します。

社内で企画し、2人以上で実施する訓練は、**1人1時間当たり730円**を支給。
外部教育機関のセミナーを受講する場合は、**受講料等の半額を助成**します。
(3時間以上の訓練が対象、1人1コース当たり2万円を上限)



社内型スキルアップ助成金

中小企業及び団体が従業員に対して、自社内で実施する短時間のOFF-JTによる職業訓練の経費を助成(同時かつ双方向で行うオンライン会議システムを利用した訓練も対象)

民間派遣型スキルアップ助成金

中小企業が、民間の教育機関等が提供する短時間の集合型の訓練に従業員を派遣して行う職業訓練の経費を助成

オンラインスキルアップ助成金

教育機関等が提供するeラーニングを活用した職業訓練の経費を助成※

※「オンラインスキルアップ助成金」の申請窓口【産業労働局 雇用就業部 能力開発課 認定訓練担当 TEL03-5320-4718】

申請期間・助成対象期間

申請回	申請期間	助成対象期間
第1回	令和4年 2月16日(水) ~ 3月15日(火)	令和4年 4月1日(金) ~ 令和5年 3月31日(金)
第2回	3月16日(水) ~ 4月15日(金)	5月1日(日) ~ 3月31日(金)
第3回	4月18日(月) ~ 5月16日(月)	6月1日(水) ~ 3月31日(金)
第4回	5月17日(火) ~ 6月15日(水)	7月1日(金) ~ 3月31日(金)
第5回	6月16日(木) ~ 7月15日(金)	8月1日(月) ~ 3月31日(金)
第6回	7月19日(火) ~ 8月15日(月)	9月1日(木) ~ 3月31日(金)
第7回	8月16日(火) ~ 9月15日(木)	10月1日(土) ~ 3月31日(金)
第8回	9月16日(金) ~ 10月17日(月)	11月1日(火) ~ 3月31日(金)
第9回	10月18日(火) ~ 11月15日(火)	12月1日(木) ~ 3月31日(金)
第10回	11月16日(水) ~ 12月15日(木)	令和5年 1月1日(日) ~ 3月31日(金)
第11回	12月16日(金) ~ 令和5年 1月16日(月)	2月1日(水) ~ 3月31日(金)



社内型・民間派遣型

お問い合わせ

○都立多摩職業能力開発センター(西立川)
042-500-8700(代)

たましょくぎょう 検索

○都立多摩職業能力開発センター八王子校
042-622-8201(代)

たましょくぎょう八王子 検索

○都立多摩職業能力開発センター府中校
042-367-8201(代)

たましょくぎょう府中 検索

イメージキャラクター



令和4(2022)年3月発行
都立多摩職業能力開発センター
人材育成課 技能担当
電話 042-500-8700

★ たまねじくんは、「多摩」とものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥

「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます!

★ たまねじくんは商標登録しています。

※ 詳細は「TOKYOはたらくネット」でご覧になれます。

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/jinzai/ikusei/kunren-josei/>

トップ>企業の人材確保・育成>人材育成の支援>社内型・民間派遣型スキルアップ助成金(中小企業人材スキルアップ支援事業)

現場訓練支援事業

自社施設
設備利用

講師を
派遣

都が半額
経費負担

要望に
応じて

◆現場訓練支援事業とは？

要望に応じて指導人材を紹介し、企業に出向いて訓練指導を行います。謝金の一部を都が負担します。

「アンガーマネジメントを含むコミュニケーション講座」

適切なコミュニケーション、アンガーマネジメント、アサーションを学び、業務全般に生かすことができる！

費用：8時間×3日間＝24時間
計画書作成6,000円
指導@7,000円×24時間＝168,000円

感想 これから仕事に役立ちそうです！

「2級建築施工管理技術検定試験準備講座」

建築施工の基礎を習得し、2級建築施工管理検定試験の合格を目指す！

費用：4時間×5日間＝20時間
計画書作成6,000円
指導@7,000円×20時間＝140,000円
合計146,600円（半額東京都が負担）

感想 合格者が出ました！

実施例紹介

年度内延べ40時間までご利用
できます！

1名から実施可能です！



【相談・問い合わせ先】
多摩職業能力開発センター
人材育成課技能担当
TEL 042(500)8700



「TOKYOはたらくネット」
現場訓練支援事業

「ステンレス鋼 溶接向上訓練」

JIS検定TN-F 合格！

費用：4時間×5日間＝20時間
計画書作成6,000円
指導@7,000円×20時間＝140,000円
合計146,600円（半額東京都が負担）

感想 社員のモチベーションが上がりました！

現場訓練支援事業

【対象】 都内の中小企業(団体等含む)、企業(団体等)、企業(団体等)単位

【場所】 自社の設備施設等

登録講師(指導支援者)をご紹介し、訓練時期・内容を調整後、訓練を貴社で行います。

1名から実施が可能です。

【費用負担】 以下の謝金を貴社と都が半額ずつ負担

「訓練指導計画書作成」1回の支援につき6,600円

「訓練指導実施」(指導支援者1名) 1時間7,000円

※謝金以外の経費(材料代・テキスト代等)は全て会社負担

【訓練時間】 年度内延べ40時間まで



求人お待ちしています！

求人の申込方法

求人票に必要事項を記入の上、当該科目を設置している、多摩職業能力開発センター(西立川)、八王子校、府中校へFAX又は郵送でお申込みください。

求人票の書式は、多摩職業能力開発センター(西立川)・各校HPの「書式ダウンロード」からダウンロードしてご利用ください。



▲求人票書式
ダウンロード

経営者インタビュー⑬

～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第13回目となる今回は、株式会社日本電力サービス 代表取締役 横倉 利隆氏 にご登場いただきました。

株式会社日本電力サービス
所在地：東京都多摩市鶴牧2-23-7
創業：昭和52年4月
事業内容：電気設備保守業務、電気工事全般、
電気機器製造販売、建築物総合管理、
新エネルギー普及促進事業
従業員数：48名
会社HP：<http://www.jeps.jp/>



横倉 代表取締役

Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

仕事に対するやる気、意欲、夢のある人を採用しています。資格は必ずしも持っていないでも良いのですが、資格を持っていても前の職場が忙しかったから転職してきたなど、ネガティブで熱意のない人は採用していません。
現場作業は協力しあう必要があるため、コミュニケーションを取れることも重視しています。

Q2 採用後の人材育成についてはどのように取り組んでいらっしゃいますか。

採用は計画的に行っており、新卒も採用しています。電気は幅広い分野ですので、採用後、座学を行った後、様々な部門を経験させ、適性や仕事への思いを聞いて配属しています。
仕事で失敗することがあっても「最近の若い人は、」と言いがちですが、時代は変わってきており、先輩が若い人を使いこなせるようになることが大切だと考えます。

Q3 職業能力開発センターの魅力、期待はどんなところでしょうか。

職業能力開発センターの卒業生は、即戦力に近く、意欲があり前向きで資格を持っていることが多いのでとても期待できます。センターに限りませんが学校教育で、良いことと悪いことをきちんと教えるメリハリのある教育や、コミュニケーション能力を身に付けさせて欲しいと思います。

Q4 これからの企業活動について、どのようにお考えですか。

コロナ前までは、全員が“経営者”という意識で取り組んでいました。そのことは今でも変わりませんが、これからは、「個」を大切にしていきたいと思っています。会社に来なくても仕事ができるため、「個」と「個」を結びつけることが大切だと感じています。
また、人材育成も大切であり、技術力だけでなくビジネスマナーや精神的なことについてもきちんと身に付けている社員を育て、楽しく仕事をしていきたいと思っています。

Q5 技術者の育成について、どのようにお考えですか。

定期的に社内で勉強会を実施しています。資格を取ることは仕事をする上で、世の中の土俵に乗ることであり、スタートラインに立つことになっていると思います。総務部の社員でも技術系の資格を取得した社員もいます。
また社員同士で気軽にコミュニケーションをとれるよう、季節的な行事を行い、情報共有ができる場も設けています。

横倉 代表取締役、ありがとうございました！